

環境福祉常任委員会行政視察報告

7月28日～30日、兵庫県小野市北播磨総合医療センターにおいて「市立病院運営の取組及びマグネットホスピタルについて」、京都府宇治市において「民・学・官子育てコラボレーション事業」「家庭的保育事業について」及び岐阜県高山市において「収納率アップ、国保料軽減への取組について」を環境福祉常任委員会の行政視察調査項目として実施しました。

●7月28日 北播磨総合医療センターを視察

視察事項・・・「市立病院運営の取組及びマグネットホスピタルについて」

《概要》

北播磨総合医療センターは平成25年10月1日、三木市民病院と小野市民病院が統合し開院した。大学と行政の連携により地域で総合医・専門医の人材育成を図ることを目的とした病院である。



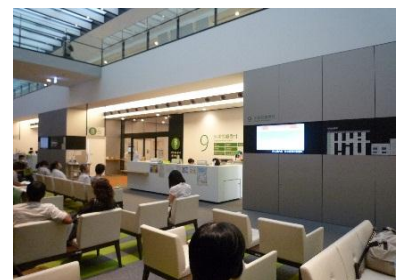
《設立の経緯》

- 北播磨圏域における地域医療の課題
 - ・ 医師不足による診療科の休診
 - ・ 中核となる病院の不在
- * 上記の理由より既存の枠組みでの地域医療の確保が困難に・・・

- 三木市民病院及び小野市民病院、両院の統合による中核病院構想
 - ・ 神戸大学による中核病院構想の提案
 - ・ 公立病院改革、再編化の流れ
- * 上記の理由より医療資源の集中化による医療供給体制の見直しへ・・・



- 大学と行政の連携による病院建設
(地域医療を守る全国初の試み！！)



《基本理念・基本方針》

- 基本理念
 - ・ 患者と医療人を魅きつけるマグネットホスピタルを地域医療とともに築き、理想の医療を提供する。
- 基本方針
 - ・ 安全で、より質の高い医療を提供する。
 - ・ 患者と医療人のパートナーシップを図り、信頼される病院を目指す。
 - ・ 地域の医療機関と連携を深め、地域で完結する医療を提供する。
 - ・ 高い技術と誇りを持った医療人を育てる。
 - ・ 病院を維持・継続できる安心した経営基盤を確立する。

《主な医療機能と診療科目》

- 国の医療上の重点項目である4疾病（がん，脳卒中，急性心筋梗塞，糖尿病）対策に加え，救急医療，小児医療，周産期医療を充実，強化している。
内科系（18科） 外科系（15科）

《病院施設》

- 規模
 - ・敷地面積 約8万5,000㎡ ・延床面積 約4万2,000㎡
 - ・鉄筋コンクリート造 免震構造 ・地上7階，塔屋2階，屋上ヘリポート
 - ・病床数 450床 ・ICU 10床 ・緩和ケア病床 20床 ほか
 - ・手術室 9室 うちハイブリッド対応 1室 ほか
 - ・総事業費 約200億円（医療機器約 40億円）
- *医療機器は旧両病院の機器も再利用

《主な質疑・答弁》

質疑「2市の旧市民病院の跡地活用策について」

答弁「旧三木市民病院は取り壊し，特別養護老人ホームへ移行するために，社会福祉法人へ売却を行った。旧小野市民病院は民間病院へ売却し，民間病院として活用している」

質疑「マグネットホスピタルの特徴的取組とは」

答弁「患者と医療人を吸着して離さないとのマグネットホスピタルの定義に基づき運営を行い，施設及び診療科の拡充により症例が豊富となり，研修医，看護師の希望者が増加している。毎週研修医を対象に医療講義を開催，看護師の教育体制の充実を通して新病院の職員定着率は向上している」

●7月29日 京都府宇治市を視察 視察事項・・・「民・学・官子育てコラボレーション事業について」 「家庭的保育事業について」

《概要》

- ・昭和26年市制施行（2町3村合併）
- ・面積 67.54km² 人口 18万6,782人（平成27年5月1日現在）
- ・京都府の南部に位置し，世界遺産の平等院，宇治上神社等の文化財を有している。特産品は宇治茶。京都第二の都市，京都・大阪のベッドタウンとして発展，京都市への通勤率は29.1%。基本理念「みどりゆたかな住みたい，住んでよかった都市」を柱に人口減少傾向に予測される人口動向に対応し，市街化地域を拡大しないほか，大幅な人口増加を前提としないなど，情勢に即した第5次総合計画を平成23年に策定。

① 「民・学・官子育てコラボレーション事業」について

《設立の経緯》

- ・宇治市槇島町にある京都文教短期大学が平成22年9月、開学50周年記念事業として、新学舎「月照館」を建設した。その際、学舎の1階に地域に根ざした子育て支援と学生・教職員の教学，教育実践・実習，研修・研究を行うことを目的とした施設「ぶんきょう にこにこルーム」子育て支援室を開設し，運営・管理を地域住民が，運営費補助を宇治市が行う新しい形での子育て支援事業として開始した。

《事業実施体制・連携主体》

- ・地域・・・短大近郊の北槇島地域の青少年健全育成協議会を中心に事業の運営組織であるNPO法人まきしま絆の会を平成23年設立。
- ・京都文教短期大学・・・平成22年に締結した宇治市との協定書に基づき，実施場所の施設提供（施設整備使用料無償，光熱水費維持管理費，学校法人京都文教学園が負担）
- ・宇治市・・・平成22年～23年度は「民・学・官子育てコラボレーション事業」へ補助
平成24年度以降は地域子育て支援拠点事業として委託

《施設について》

- ・ぶんきょうにこにこルーム・・・子育て中の親子が気軽に集い，相互に交流を図ることができる場所として開設時間内であれば，いつでも自由に使用できる。原則参加者の利用料は徴収しない。事業従事者は地域の保育士資格を持った専任職員である。学生は乳幼児との実習の機会として，読み聞かせや手遊びで参加している。
- ・施設の概要 面積 約150㎡
備品 DVDプレーヤー，VHSビデオ，ブルーレイプレーヤーほか
ルーム，スタッフ室，授乳室，給湯室 ほか
- ・利用状況 平成22年度 2,386人（9月から実施） 23年度 7,455人
平成24年度 7,953人 平成25年度 9,417人 平成26年度 9,862人

《主な質疑・答弁》

質疑「補助金の経緯と補助金額について」

答弁「平成19年度地域力再生プロジェクト支援事業をきっかけとし，北槇つながりプロジェクトとして実施，平成27年度，子ども・子育て支援交付金 総額494万4,000円，（国・京都府・市において各3分の1の補助率）である」

質疑「利用対象者について及び利用者が満足している点について」

答弁「0歳から就学前の児童とその保護者が対象，多彩な事業内容であることに加え，隣接の商業施設，駐車場の利用，学生用のスクールバス乗車も可能であり，ともに無料であるなど」

質疑「今後の課題について」

答弁「子ども・子育て新制度にあわせ、事業の充実に向けて内容や新メニューを検討していく」

② 「家庭的保育事業について」

《事業内容》

- ・待機児童解消の取組として、少人数を保有する「家庭的保育事業」を社会福祉法人で現在民間保育園の運営実績のある6法人に委託、
- ・定員5名 10か所
- ・入所条件 待機児童解消のための事業であるため、市内に居住する3歳未満の児童で、なおかつ市内保育所への入所申し込みをしているにも関わらず、入所できない児童。
- ・保育時間 7時30分から18時30分
- ・休日 日曜・祝日・年末年始
*土曜日の保育時間は各園で異なるため各園へ確認
- ・保育料 保育所保育料に準ずる。多子軽減有
- ・施設 空き家等を改修して対応、一部国家公務員宿舎を改修、市立幼稚園の空き教室を活用

《主な質疑・答弁》

質疑「24時間体制の施設はあるか」

答弁「現在はそのような施設はない。無認可施設で22時30分までの預かりを実施している施設が3か所ある。勤務の都合上、京都市内には24時間の施設があると認識している」

質疑「保育士の確保、労働環境の整備について」

答弁「私立保育園に単独補助（給与加算等含）4億5,000万円支出しているが、各園保育士の確保には苦慮している。年間を通じて保育士の募集が行われている」

● 7月30日 岐阜県高山市を視察

視察事項・・・「収納率アップ、国保料軽減への取組について」

《概要》

- ・平成17年1市2町7村が合併、新市高山市が誕生
- ・面積 2177.6km² 全国市町村中 日本一の面積（山林92%）
- ・人口 9万2,000人（平成27年4月現在）
- ・高山市の中心市街地は、江戸時代以来の城下町、商家町の景観が保全され「飛騨の小京都」と呼ばれ、全国各地から多くの観光客が訪れている。近年は国外からの観光客も増加している。

① 「国民健康保険関連事業」について

《事業内容》

○保健事業

- ・ 啓発事業（5事業） 健康管理事業（2事業） 体力づくり（8事業）
- ・ 特定健康診査・・・検診車による巡回診査 市内137会場）
- ・ 特定保健指導・・・終了率 90.6%，積極的支援終了率 81.7%，動機付け支援終了率 93.9% 《平成25年度》

*高い保健指導の終了率は、保健師による対象者各戸訪問で対応、広い市域のため保健師を地区ごとに配置している。

○医療データを基に疾病の内容を科学的に分析し対応策を検討

- ・ 疾病ごとのフローチャートを作成，年度ごとに比較
- ・ 同規模区分別国保データベースシステムを活用し，疾病の傾向性を確認し対策を検討
- ・ 脳，心臓，糖尿病の疾病対策強化

② 「国民健康保険料収納率対策」について

《事業内容》

○保険料賦課期日及び納期

- ・ 賦課期日 4月1日暫定賦課（7月1日確定賦課）
- ・ 納期 12回（毎月徴収）

○保険料収納状況（平成26年度実績）

- ・ 現年度分 95.45% 県下3位（本市 89.76%）
- ・ 滞納繰越分 20.50% 県下4位（本市 18.09%）
- ・ 計 88.37% （本市 67.31%）

○徴収率が高い理由及び施策について・・・別紙のとおり



《主な質疑・答弁》

質疑「市民の高血圧の数値が数年の間に改善されているが、フローチャートを検証し、対策等を行ったのか」

答弁「土地柄、古くから調味料なども含め塩分の摂取量が多かったため、血圧目標値を140～90と定め、検診時に指導を行っている。医師会にも御協力いただき、医師の指導も要請している」

質疑「保険料の引上げ率、法定外繰入れについて」

答弁「平成25年度決算状況を検証し引き上げた。当初15%増を検討したが、12%増で実施した。法定外繰入れは行っていないが、平成26年度単年度収支は赤字のため基金から3億5,000万円の繰入れで対応した」

質疑「収納強化策として、平日は19時まで、土・日は9時～12時まで開設しているのか、

また口座振替率について」

答弁「収納窓口として開設しているのではなく、通常の窓口業務の範囲内で行っている。

税の相談については連絡を頂ければ、時間延長でも対応している。口座振替率は約80%である」

● 総括

・北播磨総合医療センターは、地方が抱える医師・看護師不足を解消するために構想が図られた総事業費200億円のすばらしい施設であった。目前には、兵庫県が指定した「小野長寿の郷構想」の地に建設される250床（内、政策医療病床200床）規模の国立病院も間もなく開院し、近い将来、回復期病院を備える県立病院も建設予定とのことであった。

2次医療機関としての当該センターは積極的にかかりつけ医への受診を薦めている。同センター内に地区ごとの「かかりつけ医紹介パンフレットラック」



●かかりつけ医紹介パンフレットラック
地域ごとにかなりの数の病院が紹介されていました。

を設置し、紹介率を向上する取組がなされていた。

今回の研修テーマ

であるマグネットホスピタルは職員の福利厚生面を含め、いかに労働環境を整備するかが重要であると認識した。相談窓口を設けて患者が選んでくれる病院経営を目指し、医師・看護師の研修等も充実していた。本市の医療センター施設整備基本構想の参考となる施設と考える。



●最上階にて国立病院建設予定地についての説明を受けました。

次に、宇治市の民・学・官子育てコラボレーション事業は、地元の教育機関、地元のNPO法人、宇治市がコラボレーションした新しい形態の子育て支援策であった。今後の子育て支援事業の展開を考えると本市においても教育機関との連携が必要であると認識した。

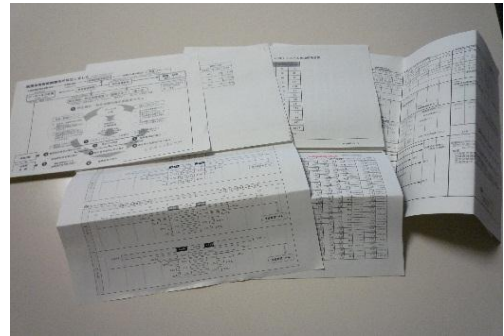


●宇治市職員より事業について詳しく説明を受け、熱心に質疑等を行いました。

次に、高山市では地方自治体が抱える税の収納率向上について尽力されており、様々な強化策を駆使し取り組んでいることに敬意を表したい。また、特定健診・保健指導を保健師の家庭訪問で対応することで高い終了率を上げている。広大な市域を23人の保健師で、きめ細やかに対応されていることに感心した。



●高山市の保健師より特定健診や日頃の保健師の活動等について詳しく説明を受けました。



●たくさんのデータを基に同規模人口の保険者との比較を行いました。霧島市における驚くべき事実が・・・。

最後に多忙な中、当委員会の行政視察を引き受けていただいた北播磨総合医療センター、宇治市、高山市の担当部署、議会事務局職員の皆様に心から感謝を申し上げ報告とします。

霧島市議会議長 常盤 信一 殿

環境福祉常任委員会

委員長	時 任 英 寛
副委員長	宮 本 明 彦
委 員	徳 田 修 和
委 員	中 村 満 雄
委 員	今 吉 歳 晴
委 員	植 山 利 博
委 員	蔵 原 勇
委 員	宮 内 博 子
事務局	藤 本 陽 子